

平成10年度第4回幹事会報告

平成11年1月21日
国立京都病院

[報告・協議事項]

事務局（総務・会計・企画）：(1)第4回近畿病院図書室協議会・病院図書室研究会共同事業運営会議（98/11/27国立京都病院）。本誌18巻4号に報告書既報。(2)第73回近畿地区医学図書館協議会例会（98/12/11奈良県立医科大）に奈良社会保険病院の黒佐孝太郎氏が出席。地区単位での個人会員制度について検討された。(3)総務：年賀状の送付。(4)会員異動：大阪・兵庫地域の電話市内局番の変更（99/01/01から）。06-XXX-YYYY → 06-6XX X-YYYYなど。(5)第70回日本医学図書館協会総会（1999/05/20-21 福岡）の開催案内（99/01/12）。(6)（財）阪神・淡路大震災記念協会より、阪神・淡路大震災に関する資料として、『病院図書室』Vol. 15 No. 1, 2, 3への寄贈依頼があった（99/01/18）ので、会誌編集部から送付。(7)会計報告。

研修部：東海地区勉強会（1998/11/14松坂中央総合病院）を開催した。テーマは「参考調査の基本と考え方」講師：山崎茂明氏と、「図書館員のためのホームページ・フォリオの紹介」講師：大橋真紀子氏。参加者は18名であった。第88回研修会（1998/12/17大阪阪急グランドビル 26階会議室）を開催した。テーマは「電子ジャーナル・電子出版」。講師は、山下幸侍、山室真知子、尾城孝一の各氏。出席者は37名であった。第89回研修会（事例研究報告会）は、平成11年3月25日の総会当日を予定。演題募集を会員に発送した（98/11/18）。

会誌編集部：会誌、18(3), 1998の発行。別紙報告書を参照。18(4), 1998はゲラは仕上がり。

19巻1号は、牧野会長とのインタビュー記事、特色ある病院図書室の紹介などが企画されている。異動のため、編集部長が前田元也氏から森川治美氏に交代した。

統計調査部：平成9年度図書室年次統計調査報告書の発行（98/12/01）。平成10年度重複雑誌所在目録の発行（98/11/01）。

目録編集部：現行所在雑誌目録1998年度版の発行と会員への配布（98/11/30）。費用は協議会の予算から計上。在庫は分散して保管。（星ヶ丘、淀川キリスト、京都南）

その他の事業：

◎総合目録データベース化（担当幹事・須井麻由美）については、1998年11月19日、国立京都病院にて連絡会議。Readme（使用説明書き）の作成、メニューの調整作業などを終え、α版が完成したので現在モニターの募集中。来年度、希望会員へ配布予定。名称は「Lettura」とし、事例報告会でも紹介する。

◎病図協紹介小冊子（担当幹事・山室真知子）の発行については、現在の分掌規定、教育研修病院やサービスセンターなどの見直しと整備なども踏まえ、作業を進めることにした。発行は来年度予算化し、記念的な事業の一つとすることにした。

[協議・決定事項]

1) 来年度の事業計画について

病図協紹介小冊子の名称を「菜」とすることにし、来年度夏頃には完成させることにした。（担当：山室）Letturaを来年度の新規事業とし、会員へは実費で配布することにした。（担当：須井）

2) 総会に向けて

役員会、総会の日程、会場については、1月25日の会長と事務局長の会見で決定することにした。その後、2月22日に役員会、3月25日に総会を開くことになった。総会特別講

演の講師には中井久夫甲南大学教授が推薦され、牧野会長に打診をお願いすることにした。選挙管理委員会の発足。会計監査の準備などの打ち合わせ。

(3)「事業協力者」の設置

個人的にボランティアとして病図協の事業活動に協力する人を「事業協力者」として協議会は受け容れることにした。事務局長がその具体的な役割を依頼し、事業協力に要する費用は、役員や会員と同等に協議会が負担することにした。